



今回は、
粗大ごみ
について

今月号から、リサイクルを中心としたエコな情報をお届けします。

本町では、粗大ごみは毎月1回は無料で引き取りをおこなっています。

粗大ごみについても、引き取り後、解体し、分別できるものは資源化しています。

※ご利用の際はあらかじめ、そおりサイクルセンターに個別回収の依頼が必要です。

粗大ごみってどんなもの？

タンス、イス、机など、一般ごみの指定袋やコンテナに入らない大きさのもの。毛布など一般ごみの指定袋に入る大きさのものは一般ごみです。

(分別の手引き26ページ)

粗大ごみの例

ストーブ、自転車、タンス類、ソファ類、物干し竿、ふとん、机類、じゅうたん、ガスレンジ

※家電リサイクル法対象の家電やタイヤなどは回収できません。

畳の処分

家庭から出た場合は、一般廃棄物として粗大ごみで回収しますが、事業者へ解体や表替え等を依頼した場合は、**産業廃棄物扱いとなります**ので、町で引き取ることはできません。処理業者に依頼するか直接産業廃棄物処分場に搬入することになります。

【粗大ごみ回収申し込み先】 (有)そおりサイクルセンター 申し込み専用電話 ☎477-2455

【お問い合わせ先】 環境政策課 ☎476-1111 環境衛生係(内線161)、環境政策係(内線163)



僕の夢 私の夢

No.58

命を大切にできる大人に

菱田小学校六年 中須 ^{かいと}海斗

ぼくは、小さいころから生き物が大好きで、クワガタムシやカメなどいろいろな生き物を育てたことがあります。

今年になって、メダカと熱帯魚を飼い始めました。最初のころは、水流の調整やエサの量、流木の配置など、たくさん悩むことがありました。また、産卵がさかんな時期には、小さな卵をていねいに分ける作業に苦戦しました。それでも、あきらめずにていねいに魚の世話を続けました。すると、メダカが大きくなったり、数が増えたりする度に、とてもうれしい気持ちになりました。また、魚の体はとても小さいですが、

一匹一匹に大切な命があることを考えるようになりました。

自分にとって楽しいこと、自分が好きなことを生かして仕事ができると、幸せに生きられると思います。ぼくは大人になったら、生き物に関わる仕事をしたいです。どんなに小さな生き物にも、一つしかない大切な命があります。生き物の大切な命を支えたり、守ったりできる大人になりたいです。そのために、自分が飼っているメダカや熱帯魚を大切に育て、将来の自分に役立てたいです。